



ハートフルナース

日本で看護師に！

元EPA看護師候補者が

夢への第一歩

今年受け入れ支援を行った、インドネシア人元EPA看護師候補者9名の中から3名が准看護師試験に合格いたしました。一度は帰国し、あきらめかけた夢に向けて再挑戦し、再び夢への第一歩を踏み出しました。

日本の高い医療技術の習得と インドネシアの医療水準の向上のために

来日したインドネシア人元EPA看護師候補者9名は短期間ではありますが、日本語講師平井先生指導のもと、「日本の高い医療技術を習得したい」、「インドネシアの医療水準を向上させたい」という強い思いを持って、必死に勉強に取り組みました。残念ながら看護師国家試験の合格者は出ませんでした。今回3名が准看護師試験に見事合格し、日本で活躍するための第一歩を踏み出しました。准看護師試験に合格されたのはリサさん、ヌルジャナさん、エンダさんの3名です。3名は本人の強い希望により、今後偕行会グループで働きながら来年の看護師試験合格を目指すことになっています。



リサさん



ヌルジャナさん



エンダさん

働きながら日本の看護師試験合格を目指す



今後の決意を語るリサさん

見事准看護師に合格されたりサさんに、今回のプログラムについて話を伺うと、「日本アジア医療看護育成会や周りの皆さんにサポートいただけて頑張ることが出来ましたが、看護師試験に合格することが叶わず申し訳ありません。しかしながら、日本で准看護師として働きながら、来年看護師試験に合格できるよう頑張ります。支援してくださった皆さんに本当に感謝しています。」と語られました。

また、苦労したことは何かとうと、働きながらの試験勉強と日本語、特に漢字が多い医療用語を挙げられました。それから、日本とインドネシアでは時差があり、仕事が終わってから日本にいる平井先生に相談をしようとする日本は22時になってしまっており、わからないことをリアルタイムに相談することが出来なかった点も苦労されたようです。働きながら看護師試験合格を目指す外国人にとっては、日本語と時差が壁になっていることがわかります。

日本アジア医療看護育成会では、今後もこのような日本の医療を学びたいという意欲的な元EPA看護師候補者が一人でも多く日本の看護師国家試験に合格し、夢を叶えられるよう支援を続けてまいります。